

オカムラグループ 社会貢献活動方針

オカムラグループの創業の精神は、「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是と「基本方針」によって企業文化として定着し、グループの経営と事業活動に受け継がれています。基本方針の中には「経営は常に社会との調和をはかる」という一節があります。創業から現代に引き継がれるこの精神を礎に、広く社会課題の解決に資する取り組みの進展にむけ、オカムラグループ社会貢献活動方針を以下に定めます。

1. 地域・社会とのさまざまな対話・交流を通じて、社会と共生し、信頼される存在となります。

生産事業所・事務所拠点の地域の方々、自治体からの要望・要請等に真摯に対応します。

2. 事業で蓄積した知見・経験を生かし、社会課題の解決に貢献します。

- 重点分野：災害支援、次世代人材育成、地球環境保全、「人が生きる場」に関連する分野。
- 上記の重点分野において、経営資源を積極的に活用し、社会課題の解決に貢献します。
- 社内外と積極的に共創します。

3. 従業員のボランティア活動を支援します。

従業員は広くボランティア活動に参加し、それによって得られた知見を事業活動に還元することで社会課題解決に向けた好循環を構築します。

(2021年5月制定)